

[2018年4月1日～2018年9月30日]

株主通信

Eat Well, Live Well.

Aji

AJINOMOTO®

第141期
中間



社長インタビュー

2018年度上期の実績
および今後の展望 → P.1

グループ活動報告 → P.3

新製品のご紹介 → P.5

トピックス → P.7

株式関連情報 → P.9

味の素株式会社

[証券コード: 2802]



株主の皆様には、
日頃よりひとかたならぬ
ご支援を賜りまして、
誠にありがとう
ございます。

代表取締役
取締役社長
最高経営責任者

西井 孝明

2018年度上期の実績 および今後の展望

Q 2018年度上期の実績は、
いかがでしたか？

西井 アジノモトグループシェアードバリュー
Ajinomoto Group Shared Valueを中核として顧客課題の解決に取り組んだ結果、国内および海外の調味料事業、医薬用・食品用アミノ酸事業、電子材料事業等が好調でした。一方、競争激化の影響を受けた国内の冷凍食品事業およびコーヒー事業は、減収減益となり、海外冷凍食品事業は、増収ながら構造改革の途上にあり大幅減益となりました。これらの結果、全体では増収減益となりました(詳細P.3~P.4「グループ活動報告」ご参照)。

Q 課題事業に対する
取組みについて教えてください。

西井 国内の冷凍食品事業は、トップシェアを誇る「ギョーザ」の品質向上と新品種投入を核とした活動強化により巻き返しを図ります。国内のコーヒー事業は、パーソナル化やフレーバーの多品種化等が進む家庭用市場に対し、スティック商品の増産体制を強化するとともに、業務用商品の販売拡大にも取り組みます。海外冷凍食品事業は、主力のアジアン製品中心に品質向上を軸にした販売を強化するとともに、米国における生産の安定化と物流費高騰への対策を講じています。ま

た、タイの缶コーヒー「Birdy[®]」は、^{バーディー}値上げの効果も出て好転しており、さらに販売を強化していきます。

Q 2018年度上期は、 どのような取組みをしたのでしょうか？

西井 主に国内食品生産体制の再編と「ワールドうま味フォーラム」です。国内食品生産体制の再編では、調味料等の製造・包装一貫生産を行う工場の新設、生産拠点の集約、ICT・自動化等の先端技術の活用等により、飛躍的に効率を高め、お客様の需要に柔軟かつスピーディーに応える世界トップレベルの生産の実現を目指します。また、2018年9月には、当社初となる「ワールドうま味フォーラム」*をアメリカで開催しました。うま味物質であるグルタミン酸ナトリウム(以下「MSG」)は、食べ物をおいしくすると評価される一方で、様々な誤解や不安を持たれています。歴史、科学、食文化、心理学等の専門家が、それぞれの立場からこの矛盾を紐解くとともに、MSGは調味料として「おいしい減塩料理」を長く続けるのに有効な素材であることが発表されました。このような情報発信を継続していくことも、世界の人々への貢献に寄与し、事業の成長につながるものと確信しています。

*「ワールドうま味フォーラム」ホームページ
(<https://www.worldumamiforum.com/>)



Q アミノサイエンス事業の取組みは、 いかがですか？

西井 ヘルスケアセグメントの事業が好調です。医薬

用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスおよび化粧品素材の各事業では、素材開発に加えて一貫性のあるサプライチェーンを築き、信頼性を高める活動とともに、顧客へのソリューション力を強化することで成長を牽引しています。また、再生医療における臨床用培地の受託製造会社(味の素コージンバイオ社)をコージンバイオ株式会社と2018年6月に設立しました。この会社の設立により、今後著しい需要拡大が見込まれる再生医療における臨床用培地の受託製造事業に参加し、先端バイオ医療周辺事業の更なる拡大を目指します。ライフサポートセグメントの事業では、電子材料事業は新たな需要を捉えて好調に推移し、動物栄養事業は構造改革が着実に進展しています。

Q 株主還元については、いかがですか？

西井 2018年度の中間配当金は、1株あたり16円とさせていただきます。今後も、株主様への還元方針である「配当性向30%を目途に安定的かつ継続的に配当」および「3か年の総還元性向50%以上を目途に、機動的な自己株式取得を検討」に則り進めてまいります。また、当社グループへのご理解をより深めていただけるよう新設した、「株主様工場見学デー」をさらに発展させてまいります(詳細P.8「株主様工場見学デー」のご報告)ご参照。株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

日本食品

売上高

1,809 億円

(37億円 減)
(前年同期比 98.0%)



事業利益

124 億円

(56億円 減)
(前年同期比 68.8%)



調味料・加工食品は、家庭用、業務用ともに堅調で増収となりました。冷凍食品は、家庭用は第2四半期より復調傾向も、第1四半期の販売苦戦の影響をカバーできず減収となり、業務用は前年並みとなった結果、全体で減収となりました。コーヒー類は、主に市場縮小に伴う競争激化の影響を受けた家庭用製品やギフト製品の減収とCVS向け製品の減収により、全体で減収となりました。

調味料・加工食品は、家庭用は前年並みも、業務用における原燃料価格の上昇影響等により全体で減益となりました。冷凍食品およびコーヒー類は、第2四半期より復調傾向も、第1四半期の減益をカバーできず、大幅減益となりました。



海外食品

売上高

2,334 億円

(115億円 増)
(前年同期比 105.2%)



事業利益

225 億円

(4億円 増)
(前年同期比 101.9%)

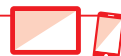


調味料・加工食品は、換算為替によるマイナスの影響があったものの、調味料の販売拡大、タイにおける缶コーヒーの値上げ等により増収となりました。冷凍食品は、北米におけるアジアン製品の販売拡大や欧州における子会社の新規連結影響等により増収となりました。加工用うま味調味料は、主に海外における販売拡大により、甘味料は、主に加工用の販売拡大により増収となりました。

調味料・加工食品は、発酵原燃料価格上昇の影響があったものの、増収に伴い増益となりました。冷凍食品は、主に米国における物流費の高騰や新生産体制構築に伴う生産コストの増加等により、大幅減益となりました。加工用うま味調味料は、発酵原燃料価格上昇の影響があったものの、数量増および貿易為替影響等により増益となり、甘味料は前年並みとなりました。



決算等に関する詳細情報は、当社ホームページにてご確認ください。 <https://www.ajinomoto.com/jp/ir/>



ライフサポート

売上高

543億円

(17億円 **減**)
(前年同期比 96.9%)



事業利益

49億円

(20億円 **増**)
(前年同期比 174.4%)



動物栄養は、トリプトファンが大幅増収となったものの、リジンおよびスレオニンの販売数量減少により減収となった結果、全体で減収となりました。化成品は、主に電子材料の販売好調により増収となりました。

動物栄養は、トリプトファンの増収影響等により大幅増益となりました。化成品は、増収に伴い大幅増益となりました。



ヘルスケア

売上高

649億円

(117億円 **増**)
(前年同期比 122.2%)



事業利益

38億円

(8億円 **増**)
(前年同期比 129.7%)



アミノ酸は、製薬カスタムサービス、医薬用・食品用アミノ酸ともに販売拡大および子会社の新規連結影響等により大幅増収となりました。その他は、主に香料品素材や機能性表示食品の販売拡大等により増収となりました。

アミノ酸は、医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスとともに、主に増収に伴い大幅増益となりました。その他は、主に計上サブセグメント変更（製薬カスタムサービスに移管）により減益となりました。



その他

売上高

128億円

(0億円 **増**)
(前年同期比 100.5%)



事業利益

8億円

(2億円 **減**)
(前年同期比 76.3%)



その他の事業は、売上高は前年並みとなり、事業利益は主に包材事業の減益により、減益となりました。



「クノール®カップスープ」ベジレシピ

太陽が香る真っ赤な完熟トマト/
森が香る濃厚マッシュルーム



野菜摂取量不足が社会的課題として関心が高まる中、20代-30代女性の摂取量不足は特に深刻です。私の周囲でも「野菜ジュースは体が冷える」「生野菜は価格が安定しない」といった野菜摂取の悩みの声が聞こえてきました。「クノール®カップスープ」は1973年の発売以降、“簡単で、おいしく、温かいスープ”という価値を提供して参りましたが、本シリーズによって“野菜摂取”という価値も新たに提供し、健康的で豊かな食生活へ貢献していきます。「クノール®カップスープ」ブランドの新たなチャレンジにご期待ください。

味の素株式会社
家庭用事業部 本多 史明



「鍋キューブ®」 鯛と帆立の極みだし鍋



登場から7年目を迎えた「鍋キューブ®」。今年は、これまでの寄せ鍋や塩といった定番の味ではなく、新しい味づくりにチャレンジしました。365日、四六時中“鍋”に想いを馳せて溜めてきたアイデアのかけらを合わせ、「いつもよりちょっと良いおだし」をコンセプトに、鯛、帆立、蟹、昆布のだしを使った贅沢な味わいに仕上げました。開発チームの苦労と想いがギュッと詰まった自信作です。「1番好き!」「超おいしい!」といった嬉しい反響をいただいております。それが今後も頑張る力になっています!

味の素株式会社
家庭用事業部 三木 友輔



「ブレンディ®カフェラトリー®」 スティック 濃厚抹茶／濃厚ミルクココア



本格的な抹茶を手軽に楽しみたいというニーズの高まりを受け、味の素(株)のうま味に関する技術と「ブレンディ®カフェラトリー®」シリーズの泡立ち技術を融合し、茶せんなしでお湯を注ぐだけで飲めるスティックタイプの本格的な抹茶の味わいに仕上げました。また、若年層のココアに対するご褒美ニーズに応える商品として、ホットチョコレートのようにコク深いミルクココアも開発しました。豊かな泡立ちに包まれた専門店品質の濃厚な味わいをぜひお試しください。

味の素AGF株式会社
リテールビジネス部 菅井 うらら



「ちょっと贅沢な珈琲店®」 レギュラー・コーヒー 優雅なモーニング・ブレンド



レギュラーコーヒーが飲用される時間帯を調べると朝食時がメインで、その際最も一緒に食べられるメニューがバタートーストでした。そこで、モカやキリマンジャロといった従来の産地別訴求から、生活者がオケージョンを想起しやすい「トーストに合うレギュラーコーヒー」という新たな基軸で製品開発を進めました。トーストの甘みとバターの香りを引き立て、澄んだ後味によりバター感をすっきりとさせる味わいを実現しました。

味の素AGF株式会社
リテールビジネス部 楠田 大士



味の素グループ各社の商品に関する詳細情報は、
各社ホームページにてご確認ください。

味の素株式会社 商品情報サイト
<https://www.ajinomoto.co.jp/products/>



「アミノバイタル®」

「アミノショット®」/
「アミノショット®パーフェクトエネルギー®」

マラソン、自転車などのレース中に、“動きながら飲める”小容量ゼリー「アミノショット®」。昨年発売した筋肉の材料BCAA配合の“青色”に加え、長時間レースのエネルギー補給に適した“赤色”「アミノショット®パーフェクトエネルギー®」が新登場!マラソン中の試飲評価を繰り返し、動きながらも、おいしく感じられる味に仕上げました。携帯しやすく、切れ端が分離せずゴミにならない形状もアスリートに大変好評です。ぜひお試しください。

味の素株式会社
スポーツニュートリション部 長田 智大



「ギョーザ」 「しょうがギョーザ」

「ギョーザ」は、誰が調理してもパリッパリの羽根ができるうす皮に、国産のお肉を使用した中具はもっと肉汁ジューシーに、毎日でも食べたい品質に超進化しました!さらに新発売の「しょうがギョーザ」は、にんにくを使わず生姜がきいてるので、いつ食べても飽きのこないおいしさです。新しくなった2種類の「Ajiギョーザ」で、冷凍餃子市場をさらにリードしていきます!

味の素冷凍食品株式会社
開発マーケティング部 鈴木 誠志



「マキシム®」

ファインビター/
リフレッシュアロマ

毎日忙しく働く方に向けた個包装タイプのインスタントコーヒーです。インスタントコーヒーに細かく砕いたレギュラーコーヒーをブレンドすることでインスタントコーヒーのみでは実現できない香り立ちや風味を実現しました。個包装タイプなのでオフィスや外出先など、いつでもどこでもお楽しみいただけます。一日の始まりにはキレのある苦みの「ファインビター」を、

日中の息抜きには華やかな香りの「リフレッシュアロマ」をぜひお試しください。

味の素AGF株式会社
リテールビジネス部 桐山 雅巨



「味からっ」 やわらか若鶏から揚げ じゅわん鶏もも／ふっくら鶏むね

あの「やわらか若鶏から揚げ」が“お肉のやわらかさ”と“味”を追求した新ブランド「味からっ」として新発売しました。しょうが醤油だれに漬け込み、特製黄金スパイスで仕上げた、絶妙なおいしさのやわらかくてジューシーな(じゅわん鶏もも)と、むね肉をうま塩だれに漬け込み、生姜と山椒の黄金スパイスで仕上げた、お肉がふっくらと旨い(ふっくら鶏むね)!ぜひどちらもお試しください!

味の素冷凍食品株式会社
開発マーケティング部 笹枝 由紀子



味の素冷凍食品株式会社 商品情報サイト
<https://www.ffa.ajinomoto.com/>



味の素AGF株式会社 商品情報サイト
<https://www.agf.co.jp/lineup/>





「味の素KKマヨネーズ」

発売 50周年

1968年に発売した「味の素KKマヨネーズ」は、これまでにないマイルドなマヨネーズの味を探求して生まれました。

以来、改良を積み重ね、1996年にマヨネーズの主素材である卵・油・酢の品質と鮮度にこだわった「ピュアセレクト®」ブランドとして生まれ変わりました。さらに、1998年には「マヨネーズは生ものである」という考えのもと、卵の鮮度にとことんこだわり、“とれて3日以内の国産新鮮たまご”というコンセプトを加え、おいしさの向上とブランド力の強化を図ってきました。

味の素株式会社
家庭用事業部
船越 隼人



発売50周年を迎えた2018年に、更なるおいしさ向上を求め「ピュアセレクト®」シリーズ全品種をリニューアルしました。当社独自の製品評価技術を活用したマヨネーズに関する調査の結果、酢のツンとした臭いである「酢カド」を抑えた味わいが好まれることがわかりました。こうした嗜好性にお応えすべく「熱を加えて酢カドを抑えた酢」をベースに、白ぶどう酢、玄米酢、木樽熟成モルト酢をブレンドした新「ピュアセレクト® ビネガー」を使用し、よりまろやかでやさしい味わいに仕上げました(特許出願中)。また、長年ご愛顧いただいているお客様へ感謝をお伝えすべく、2018年11月より「おかげさまで「味の素KKマヨネーズ」発売50周年「旬の春野菜」プレゼント」キャンペーン*を実施しております。「あたりくじ」付キャンペーン特別品を販売し、「あたり」が出た方に「ピュアセレクト®」でおいしく食べられる「旬の春野菜」をお届けします。

*応募締切日：2019年2月28日(木)当日消印有効

「ピュアセレクト®」の商品情報、レシピ、CM等は、当社ホームページにてご確認ください。
<https://www.ajinomoto.co.jp/pureselect/>



「株主様工場見学デー」の ご報告

2018年9月19日(水)味の素(株)川崎工場、9月24日(月)味の素冷凍食品(株)関東工場、10月12日(金)AGF鈴鹿(株)にて「株主様工場見学デー」を実施しました。多数のご応募の中から、厳正な抽選の結果、当選された合計376名の株主様および同伴者様にご参加いただきました。



味の素(株)川崎工場
「CookDo」コース
調理体験の様子

味の素(株)川崎工場
「味の素」コース
製品包装工程見学の
様子



味の素冷凍食品(株)
関東工場
業務用デザート
製造工程見学の
様子



AGF鈴鹿(株)
温室内の
コーヒーの木
見学の様子



コーヒーの
木の实

工場の人たちの
挨拶が
気持ちよかった。

説明が丁寧で
わかりやすかった。

安心安全にこだわって
製造している点が
素晴らしいと思った。

体験できることが
複数あって
楽しかった。

会社のエコに対する
考え方がわかり、
良かった。

参加者様
の声





株主優待のご案内

当社は、年に1回3月31日時点において1単元(100株)以上を保有する株主様に味の素グループの製品のご優待品をお贈りしております。

※2018年3月31日時点の株主様には、2018年8月までにご優待品の発送を完了しております。

100株以上1,000株未満保有の株主様^{*1}

味の素グループの食品詰め合わせセット ^{*3}

市価1,000円相当



1,000株以上の保有期間が継続3年未満の株主様^{*1}

味の素グループの食品詰め合わせセット ^{*3}

市価3,000円相当



1,000株
以上まで
買い増し

継続保有3年以上

1,000株以上の保有期間が継続3年以上の株主様^{*1*2}

市価6,000円相当

選べる

味の素グループの製品(市価6,000円相当)複数の選択肢の中から1個を選択
または「公益財団法人 味の素ファンデーション」へ株主優待品相当額(6,000円)の寄付

^{*3}



*1 毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様が対象となります。

*2 株主名簿基準日(9月30日および3月31日)の株主名簿に1,000株以上の保有記録が同一株主番号で7回以上連続している場合をいいます。

*3 株主優待の写真はイメージです。

株主優待に関する詳細情報は、当社ホームページにてご確認ください。
<https://www.ajinomoto.com/jp/ir/stock/stockholder.html>



「オンライン会社説明会」のご案内

本説明会では、当社の強みや事業構造、中期経営計画に基づいた取組み等についてご説明し、皆様からのご質問に社長の西井がお答えします。当社へのご理解をさらに深めていただく機会になれば幸いです。

日時 2018年12月12日(水)20:00～20:45

URL <https://goo.gl/U4ZtrU>



IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
▲ 本決算発表		▲ 定時株主総会	▲ 第1四半期決算発表・統合報告書発行			▲ 中間決算発表			▲ 第3四半期決算発表		

株主様アンケート

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の株主様とのコミュニケーション活動の参考とさせていただきますため、WEBアンケートを実施しますので、ご協力をお願い申し上げます。



右記URLにアクセスいただき、アクセスナンバー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

本アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから2018年12月31日(月)までです。

アンケートにご協力いただいた株主様の中から抽選で50名様に、通販向け商品の「鍋キューブ®」アソートパック18個入パウチ(鶏だし・うま塩6個、濃厚白湯6個、寄せ鍋しょうゆ6個)をプレゼントいたします。

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



本アンケートは、宝印刷株式会社が運営する「ネットでお手元へアンケート」を利用し、実施いたします。宝印刷株式会社については、<https://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。

※本アンケートに関するお問い合わせ先: kabu@takara-print.co.jp

※平日17時以降、ならびに土、日、祝日および年末年始等の休業日のお問い合わせは、翌営業日の回答になります。

>>> アクセス方法


 **パソコンから**

下記のURLからアクセスいただけます。
<https://q.srdb.jp/>

 **スマートフォン・携帯電話から**

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、上のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



 **メールから** enq@q.srdb.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

【個人情報の取扱いに関して】

本アンケートでご入力いただいた個人情報は、今後の株主様とのコミュニケーション活動のさらなる充実および抽選に当選された株主様への謝礼の送付のために使用させていただきます。その他、当社は、「プライバシーポリシー」(<https://www.ajinomoto.com/jp/privacy/>)に従って、個人情報の適正な取扱いに努めてまいります。

会社の概要

商号 味の素株式会社
 本社 〒104-8315
 東京都中央区京橋一丁目15番1号
 創業年月日 1909年(明治42年) 5月20日
 設立年月日 1925年(大正14年) 12月17日
 資本金 79,863,797,685円

取締役・監査役

* 取締役会長	伊藤 雅俊	社外取締役	橘・フクシマ・咲江
* 取締役社長 最高経営責任者	西井 孝明	社外取締役	齋藤 泰雄
* 取締役 専務執行役員	高藤 悦弘	社外取締役	名和高司
* 取締役 専務執行役員	福士 博司	常勤監査役	富樫 洋一郎
取締役 専務執行役員	栃尾 雅也	常勤監査役	田中 静夫
取締役 常務執行役員	木村 毅	社外監査役	土岐 敦司
		社外監査役	村上 洋
		社外監査役	天野 秀樹

* 代表取締役

株式の状況

発行可能株式総数 1,000,000,000株
 発行済株式の総数 571,863,354株
 単元株式数 100株
 株主数 133,780名

株主メモ

配当支払株主確定日 3月31日(期末配当) 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 9月30日(中間配当) 9月30日(中間配当) 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
 0120-232-711 (通話料無料)
 証券コード番号 2802 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行 株式会社 私書箱第29号
 特別口座の口座管理機関 株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きのご案内

① 証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ 	口座を開設されている証券会社	
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)

② 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 特別口座から証券口座への振替請求 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ 届出住所・姓名などのご変更 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 	株主名簿 管理人	

味の素株式会社

〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1
<https://www.ajinomoto.com/jp/>

この冊子に関するお問い合わせ先 法務部 03-5250-8390(通話料有料)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。